

「正月特訓最終日には1時間の武者語りを」

- 受験生としての自覚を促すことに、執念をもってお取り組み下さい -

開倫塾  
塾長 林 明夫

正月特訓最終日には.....

1. よくここまで冬期講習会前期・正月特訓と学校が冬休みになってから毎日開倫塾で受験勉強に取り組みましたね。これは自分で決めた自分の行きたい学校である「一流校合格」を自己責任・自助努力で勝ち取る素晴らしい行動と高く評価させていただきます。塾生の皆様は本当に素晴らしい。尊敬に値します。また、皆様の受験勉強を支えて下さっている御家族の皆様も本当に素晴らしい。塾生の皆様は感謝の気持ちをもって合格のその日まで机に向かって下さいね。

\* この旨のお話を是非してあげて下さい。

2. 「武者語り」を1時間確実に行って下さい。開倫塾では毎学期の初日と最終日、年3回の講習会の初日と最終日、特訓授業の初日と最終日に「各1時間の武者語り」をすることが、全校長、全講師の義務事項となっております。正月特訓は特訓授業ですので、その最終日の本日、授業終了前の1時間は「武者語り」を怠ることなく必ず行って下さい。

その目的は、塾生の自覚を促すこと、受験生としての自覚を促すことでもあります。「教育の成果」を決定する要因は「本人の自覚」と「教師の力量」と考えます。「本人の自覚を促すことも教師の力量である」と考えます。教科の知識のみ伝えても偏差値が上がることはありません。合格が困難と思われる本人の希望校に合格することはありません。他の受験生も懸命に勉強しているからです。本人の自覚、受験生としての自覚をもつことのみが合否を決めます。どうかよろしくお願い申し上げます。

以上